

テーマ：進行大腸癌における初回化学療法の違いによって、
生存期間に影響を及ぼすかどうかの臨床疫学的検討
情報公開文書

日本赤十字和歌山医療センター医療安全室では、以下にご説明します研究を実施します。この研究への参加を希望されない場合は、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。またお申し出された場合でも、いかなる不利益を受けることはございませんので、ご安心ください。

研究目的

進行大腸癌に対して、初回治療として化学療法を実施することが通常で、mFOLFOX6 療法と FOLFIRI 療法に分子標的薬を上乗せすることが一般的です。世界的に両者に相違はないことが示されていますが、当院における治療成績を、電子カルテおよび DPC データを使用し検討することを目的にしています。メインアウトカムは、化学療法による長期生存に寄与する個人背景の絞り込みです。

研究期間

2021 年 10 月 1 日から 2022 年 9 月 30 日（1 年間）の予定

研究の対象となる方

2009 年 10 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日に日本赤十字社和歌山医療センターに入院した方

研究の方法

電子カルテを使用して、匿名情報に加工したデータを使用します。このデータをもとに、院内で転倒・転落した方の患者背景因子を統計学的に調査します。

使用する情報および個人情報の保護

抽出したデータには、患者さん個人番号（ID）と氏名が含まれています。患者さんの ID を使用して、院内に所有する様々な臨床データを突合しますが、突合後の解析データから、患者さんの ID と氏名を削除し、個人情報を再修復できないようにします。また研究用パソコンは、インターネットにつなぎません。論文化から 10 年以上はデータを保存しますが、その後に適切にデータを破棄します。

研究資金・利益相反について

該当する利益相反はなく、研究資金は日本赤十字社和歌山医療センターから提供されます。

研究計画書などの入手・閲覧方法・手続き

研究計画書などは入手閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせください。

個人情報の開示にかかる手続きについて

ご自身の情報を閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせください。

研究責任者

梅村 壮一郎 日本赤十字社和歌山医療センター 消化器内科 医師

共同研究者

瀬田 剛史 日本赤十字社和歌山医療センター 消化器内科 副部長
ほか、当科所属全医師・後期研修医

お問い合わせ先

日本赤十字社和歌山医療センター 総務課

電話 073-422-4171 (代表電話)

所在地 〒640-8558 和歌山市小松原通 4-20